

み重ねで何かが見えてくるのではないかという思いで2004年来、当院外来経験例をまとめてきました。

ご承知のように、インフルエンザウイルスはRNAウイルスに属し、B型肝炎ウイルスのDNAウイルスに比べ変異が問題となります。その中でも型別、亜型別ごとに変異が微妙に異なる性格があり、変異ごとに対人免疫系とのせめぎあいでの流行の大小をかもし出しています。その型別亜型別変異、出現リズムもおぼろげながら見えてきています。ただこの変異、当初思っていた以上にわれわれの免疫系に怪人20面相のごとくなりすまし侵入、翻弄し続けています。ただ、演じているのはまぎれもなく同一人物であり、いずれかはその真髄を制する日がくることを夢見ながら、これか

らも実地医家の目線でインフルエンザ流行に対峙していきたくと考えています。

最後になりますが、私の脳裏に、ガラス板上の寒天ゲル内の沈降線、抗原抗体反応が新鮮な感覚で蘇って参ります。それは現在の迅速抗原検査のラインに匹敵し、疾病をあからさまに描出してくれます。そこから新たな観察の眼が出てまいります。

この度は名誉ある医学功労賞をいただき、有難うございました。

閑話求題

学生時代、釣りはまりました。卒業してからは気軽に誘える相手も時間もなくなり、徐々に遠のいていきました。それでも魚への愛は変わらず、食を通じて魚に触れ合うことを楽しみにするようになりました。現在住んでいる萩は魚が大変美味しいところで、魚好きの私には大変恵まれた環境にあります。引っ越してきて数年、最近では魚屋さんに並ぶ魚を見て季節を感じるようになりました。ほんの一例ですが、春は冬頃からとれるメバルが大きくなり、早春にはシロウオがこの時期限定で食べられるようになります。夏にはアコウにズメダイなどが盛期を迎え、これらのラインナップが春からの魚とともに暑さを和らげてくれます。秋になるとカツオやクエなどが並ぶようになり、魚もより一層美味しい時期に入ります。冬は言わずと知れたフグに何といても天然のクロマガロです。冷凍ものとは桁違いのおいしさです。季節の移ろいを魚に感じて、また敬意をもって魚屋さん巡りをしたいと思います。

萩魚

萩市 若松 研弥

